

平成25年5月1日

会員各位



特定非営利活動法人
病理技術研究会

理事長 末吉 徳芳

「基礎病理技術学」の発刊について

日頃より病理技術研究会の活動に協力いただき深く感謝申し上げます。病理技術研究会は、昭和48年7月7日第一回組織技術研究会として例会を開催して発足し、本年、創立40周年の節目の年を迎えることができました。これもひとえに本会の諸事業に対する会員の皆さまのご理解とご協力のたまものと心から感謝申し上げます。

この間、創立35周年目に当たる平成20年には、10月21日付で「特定非営利活動法人病理技術研究会」（東京都 特第1184号）として東京都から法人格を認定され活動範囲を拡大してまいりました。

これを記念した事業として、編集担当副理事長である廣井禎之編集幹事のもと法人役員を中心に著者を選定して病理技術研究会法人化記念誌を発行することが理事会で承認されました。そして、平成22年の総会にて、会員が日ごろ役に立つ基礎知識を集約した「基礎病理技術学」を出版し、会員に還元することが総会で承認され編集作業が開始されました。

草案から編集まで3年もの期間をかけました。その間例会は、日本病理組織技術学会と称号を改め、会員も500人を超えて活動が活発化してまいりました。

今回、当会の創始者でもある故渡辺恒彦先生のご遺族より本研究会に寄付を頂き、その時の資金をもとに記念誌発行と会員への還元も可能になった事を皆様にお伝えし、先人に深く感謝申し上げます次第です。

先人の病理技術に関する厚い思いを胸に執行部一同、今後も法人活動に努力して参る所存であります。

会員の皆さまにとって本誌が身近な座右の書となることを願っております。今後とも会員の皆さまが学会や当会が開催する研修会に積極的に参加され研鑽に励まれますことを祈念しております。